

進撃の巨人 第2期 第12話

タイトル: 叫び

キャラ リスト:

エレン・イエーガー／エレン (小)、アルミン・アルレルト、ミカサ・アッカーマン、ドット・ピクシス、エルヴィン・スミス、ハンジ・ゾエ、リヴァイ・アッカーマン、ペール、ハンネス、ライナー・ブラウン／鎧の巨人、ベルトルト・フーバー、ユミル／顎の巨人、コニー・スプリングァー、ジャン・キルシュタイン、サシャ・ブラウス、ヒストリア・レイス、カルラ・イエーガー、ジーク・イエーガー、兵士たち

Japanese script from unknown transcriber (kitsunekko.net)

English translation from Gogoanime subtitles

Transcribed and organized by Kiriban

Do not ask for permission to edit. Please read my [FAQ](#) for more usage details.

カルラ (過去) エレン、あんたは男だろ？
(過去) たまにはこらえて、ミカサを守ってみせな！
エレン (小) (過去) やめろ～！
エレン ハッ... ああっ....

[OP: 心臓を捧げよ! by Linked Horizon]

ジャン ライナーの野郎... 巨人を投げてよこしやがった！
鎧の巨人 ウアアア！
ジャン うおっ！
エルヴィン うっ....
顎の巨人 アッ....
ユミル くっ....
顎の巨人 ウッ！

ユミル (考え) てめえのせいで...計画がめちゃくちゃじゃねえか！団長さんよ！

エルヴィン あっ...。

顎の巨人 ウアアア！

エルヴィン ぐっ...うう...。

顎の巨人 ウウツ...ウウツ...。

ヒストリア ユミル！コニー、あっち！

コニー 分かってる！

エルヴィン んっ...。

兵士 団長！

エルヴィン 私の代わりはいる。それよりエレンを連れて離脱しろ！

一刻も早く！

兵士 うわあ！

うっ...ううっ...あっ！

エレン あっ...ハッ...。

ミカサ エレン！

ハンネス ううっ！んんっ...ううっ！

エレン ハンネスさん！

ハンネス くっ...うわあっ！

エレン くっ...かあっ...。

ハンネス ハハッ！こんなことがあるか！なあ、お前ら！

見てろよ。お前らの母ちゃんの敵を、俺がぶっ殺すところを！

うわあ！

エレン ハンネスさん！

ジャン おっさんに続け～！

ん？

うわっ！

アルミン あっ！

んっ...。

ハッ...。

(考え) ライナー...どうして？

エレンが食われてもいいっていいのか？

ジャン 邪魔すんじゃねえよ、クソツたれが！

アルミン うっ！

顎の巨人 ウウ...ウアッ！

ヒストリア ユミル！

顎の巨人 ウッ...。

ユミル (考え) 困ったな。どうすりゃいいんだ？

(考え) ライナーがダメなら、調査兵団に協力してここを切り抜けるか？

ああっ！

(考え) だけど、そのあとはどうする？

(考え) 今この状況を生き延びることができたとしても、もうじきこの壁の中が地獄になっちまうのは避けようがない！

(考え) ヒストリアをあっち側に送れるのは今しかねえのに！私の力じゃ、守りきれるとは思えねえ！

顎の巨人 ウッ...ウウッ...。

コニー あっ...クリスタ！

ヒストリア コニー、違うよ。

私の名前はヒストリアっていうの。

ねえ、ユミル。

あなたが私を連れていこうとする理由だけど...自分が助かりたいからっていうのは、ウソなの？

いいや、ウソなんですよ。

どうして？何のためなの？

顎の巨人 ウツ...ウツ...

ヒストリア 私？

また私は守られるの？

顎の巨人 ウツ...

コニー 巨人だ！

顎の巨人 アツ...

ヒストリア ユミル...あなたが私に言ったとおり、私たちはもう...人のために生きるのはやめよう！私たちはこれから、私たちのために生きようよ！

何だか不思議なんだけど、あなたといれば、どんな世界でも...怖くないや！

コニー んっ...くそっ！

ユミル、
顎の巨人 ウアアア！

ハンネス うおおお！

ミカサ うう...

エレン ダメだ、ミカサ！そんなケガじゃ...！

ミカサ うっ...

エレン 俺の腕をほどいてくれ！

ミカサ 腕？

エレン 早く！俺がやんなくちゃなんねえんだ！

ミカサ うっ…。

ハンネス こっちだ、オラ～！

エレン あいつは、俺が…！

ミカサ エレン！うっ…待って！みんなあなたをここから…くっ…。

エレン 俺がケリをつけてやる。見てろ！

ううっ…。

ううっ…あっ…。

ミカサ ああっ…。

エレン はあ？！

兵士 うっ！

エルヴィン あっ…。

兵士 団長！鎧が…！

エルヴィン うっ…。

兵士 鎧が来ます！

アルミン ハッ…ジャン！

ジャン あっ…。

うっ…うわっ！

んあっ！ぐわっ…。

アルミン ジャン！んっ…。

大丈夫か！

しっかりしろ！

ハンネス うわああ！

くっ…。

エレン くそっ…くそっ！

なんで！くうっ！

ミカサ うっ…エレン…。

エレン ううっ…うう…うあああ！うっ…。

アルミン うっ…うわあ！ああ！

ペール うおおっ！

うう…うああっ…団長！

ハンネス うおおっ！

へへっ…うっ…うおおっ！

エレン あっ…。

ミカサ ハッ…。

エレン はっ…うっ！

ハンネス んん…。

エレン (考え) 今…巨人になんなきゃ…

うう…うっ…。

(考え) …意味ねえだろ！

ハンネス ぐっ…うっ…。

エレン あっ…。

フッフ…アハハハ！アハハハ！ハハハ…。

ミカサ エレン…。

エレン 何にも…何にも変わってねえな、お前は！

何にもできねえじゃねえかよ！

何にも！ううっ...うあああ！

ミカサ ハッ...。

エレン 母さん...俺は何も...何にもできないままだったよ...。

ミカサ エレン。

エレン あっ...。

ミカサ そんなことないよ。

エレン ハッ...。

ミカサ エレン...聞いて。

伝えたいことがある。

私と、一緒にいてくれて...ありがとう。

私に...生き方を教えてくれて...ありがとう。

私に...マフラーを巻いてくれて、ありがとう。

エレン ハッ...。

そんなもん...何度でも巻いてやる。

これからもずっと...俺が何度でも！

くっ...うわああ～！

ベルトルト あっ...。

ライナー うっ...。

ユミル ハッ...。

エレン くっ！

巨人 ウウウツ...。

エレン うあああっ！

巨人 ウワアア！

エレン うああっ！

巨人 ウアアア！

エレン うっ…。

アルミン ハッ…ええっ…。

エルヴィン あっ…。

ヒストリア あっ…。

ミカサ なんで…あいつが…食べられてるの？

コニー 何かよく分かんねえけど、今のうちだ！

サシャ 早く逃げましょう！

ヒストリア うん！

ユミル (考え) そういうことか…だからライナーたちは必死こいてエレンを…。

(考え) だとすりゃ、この壁の中にも…未来がある！

エレン あっ…。

ライナー (考え) 最悪だ。

(考え) よりによって座標が…最悪のヤツの手に渡っちまった！絶対に取り返さねえと…。

(考え) 間違いねえ。断言できる。この世でいちばんそれを持ちやいけねえのは…エレン、お前だ！

エレン 来るんじゃねえ！

ライナー うっ！

ベルトルト うっ…。

エレン てめえら、ぶっ殺してやる！

ベルトルト ハッ…。

ライナー (考え) まずい！ベルトルトを…

ベルトルト ひっ…うっ…。

ライナー (考え) ... ベルトルトを守りきれねえ！

エレン 何だ？巨人が...

アルミン エレン！

エレン ハッ...

アルミン 乗って！

エレン アルミン！

アルミン ハッ...早く！

エルヴィン この機を逃すな。撤退せよ！

ベルトルト うわああ！うっ...うわっ！

顎の巨人 ウッ...

ヒストリア ユミル！

コニー おい、ブス！何やってんだ！早く帰るぞ！

顎の巨人 ゴエンア...

ヒストリア えっ？

ユミル！どこ行くの！

コニー よせ！

ヒストリア でも、ユミルが...！

巨人 ウッ...ウウッ...

ベルトルト うっ...うわっ...

顎の巨人 ウアアア！

アルミン (叙事) そのとき、ユミルがとった行動の意味は分からなかったけど...鎧の巨人がそれ以上追ってくることはなかった。

[CM]

ライナー ユミル...なんで俺たちの所に来た？

ユミル ああ、そりゃ...私がバカだからだな。里帰りの土産になってやってんだよ。

手ぶらじゃお前ら帰ってくれねえだろ？

ベルトルト ユミル...。

ユミル お前らがこの壁を壊しに来なければ...私はずっと覚めない夢を見てたんだ。

私はただ...そのとき借りたものを返してるだけだよ。

お前たちの境遇を知ってるのは、私だけだしな。

ベルトルト ありがとう...ユミル。すまない。

ユミル いいや。

女神様もそんなに、悪い気分じゃないね。

アルミン (叙事) ウォール・ローゼが突破された可能性があるとの一報で、ローゼの住民は、ウォール・シーナ内の旧地下都市への避難を余儀なくされた。

(叙事) だが、残された人類の半数以上を食わせることのできる食料の備蓄は、1週間が限界だった。

(叙事) それを超えれば、人間同士の奪い合い、殺し合いになるのは必至である。

(叙事) そのため当局は、問題発生 of 1週間後に、ウォール・ローゼの安全宣言をするよりなかった。

エルヴィン ん？

リヴァイ ハンジだ。入れ。

ハンジ 失礼するよ、エルヴィン。あっ...。

いらしてたのですね、ピクシス司令。

ちょうどよかったです。彼は...。

コニー 104期調査兵団、コニー・スプリンガーです。

ハンジ コニーは、ラガコ村の出身です。

ピクシス 今回の巨人の発生源といわれとった村か。

ハンジ はい。

実は、村での調査結果を彼に確認してもらったところ、あの仮説の信憑性が増すばかりでして、その、報告に...

エレン 俺がまたさらわれて...そのために、調査兵団は熟練兵士の大半を失っちゃった。

俺を取り戻すために...

アルミン でも、帰りには損害がなかった。

巨人が僕らを無視して、ライナーたちに向かい続けていったからだ。

そのことで、ジャンと話してたことがあるんだけど...

エレン ん？

アルミン ... あのと時、巨人たちにそうさせたのは...エレンじゃないの？

エレン あっ...

ジャン もちろんただの推測だ。

だがそうでも言わなきゃ、あの状況は説明できねえ。

エレン ハッ...

ジャン 辛い立場だろうがな、エレン。死んだ人たちを生かすか殺すかは...お前しだいなんじゃねえのか？

その代償に見合う価値が、お前にあるのか？

ウジウジしてる暇はねえぞ。

エレン ああ、お前の言うとおりに。

やるしかねえ。巨人を操ってやる。ウォール・マリアも塞ぐ、ライナーのヤツを捕まえて償わせる。

それが俺の...なすべき償いだ。

ピクシス 何じゃと？

今回出現した巨人の正体が、ラゴコ村の住人...

エルヴィン つまり、巨人の正体は...人間であると？

ハンジ まだ、確証はないけど...

リヴァイ じゃあ...

ハンジ あっ...

リヴァイ ...何か...俺は今まで、必死こいて...人を殺して飛び回ってた...ってのか？

ハンジ 確証はないと言っただろ。

コニー ううっ...

リヴァイ エルヴィン。あっ...

お前...何を...

エルヴィン ハッ...

リヴァイ ...笑ってやがる？

エルヴィン あっ...何でもないさ。

我々は...また一歩、真実に近づいたというわけだ。

リヴァイ たった一歩か。踏み台にした巨人と人間の数にしちゃ、割に合わないな。

エルヴィン だが確実な一歩だ。

我々はいずれ必ず突き破る...真実を隠している...壁を...

ジーク まだかな？

[ED: 夕暮れの鳥 by 神聖かまってちゃん]